

ボーイスカウト東京連盟  
あすなろ地区 広報誌  
第1号

2015年2月12日  
組織拡充委員会

## 地区報「あすなろ」の発刊について

地区委員長 鈴木 守



このたび、あすなろ地区の地区報として「あすなろ」を組織拡充委員会で発刊し、地区ホームページに掲載することになりました。

あすなろ地区としては、ボーイスカウトの目的、方法、その精神を大切にするにより、地区内の各団をこれまで以上に活力ある、健全な団にすることが求められていますが、地区報「あすなろ」は、各団の皆様の協力をいただくことにより、こうした役割や機能の一端を果たすことができるように思います。

すなわち、地区報「あすなろ」により、活動に参考になる情報は積極的に開示し、活動の情報が不足する部分は充足して、情報を共有化することにより、各団の育成会、団委員、指導者の皆さんの気持ちを一つにしていくことが期待されます。

また、こうした取り組みによって、スカウト一人ひとりが効果的な活動に意欲を持って挑戦し、やりとげた感動とともに、知識、技能を身につけ、精神的にも肉体的にも逞しく成長していけるようにしていく必要があります。

なお、本年夏は第23回世界ジャンボリーが山口県きらら浜で開催され、わが地区からも32名のスカウト及び派遣隊指導者4名・大会本部IST奉仕者9名が派遣され、参加します(27.1.31現在)

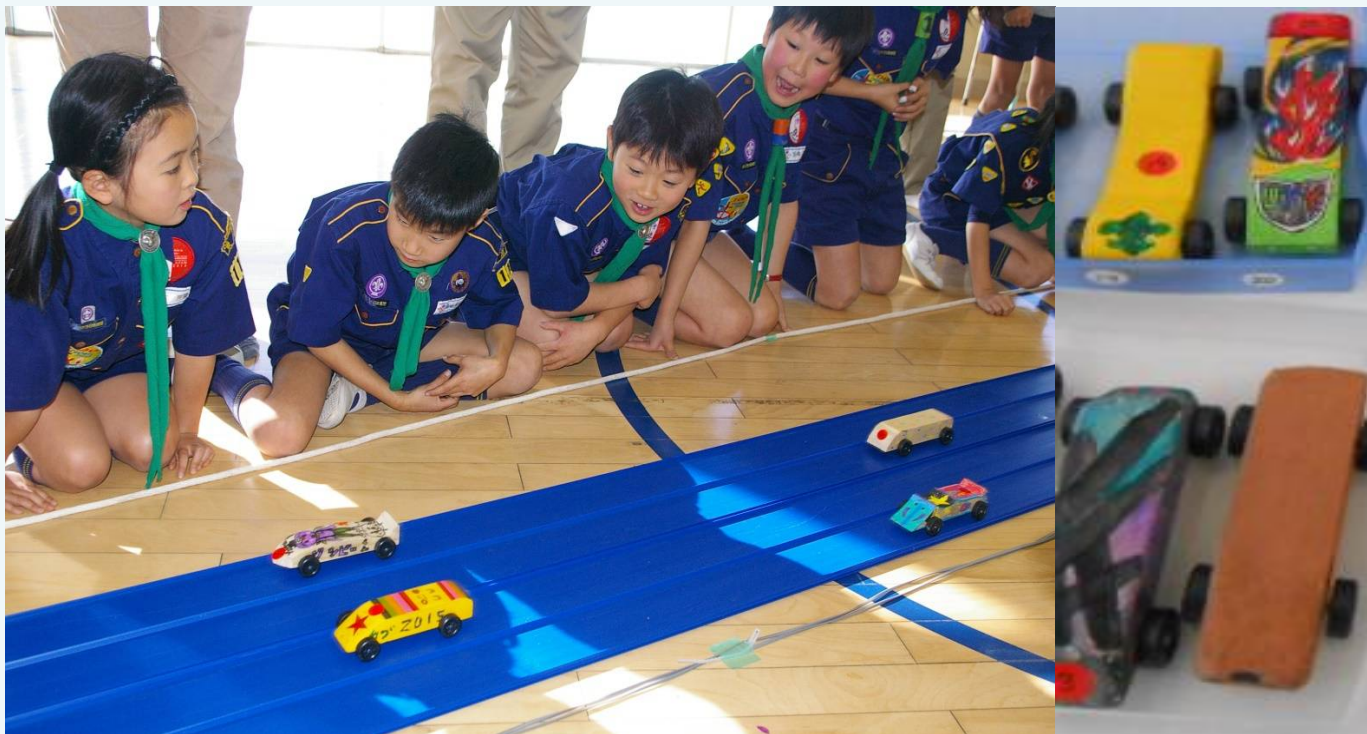
地区としても派遣に対しての支援体制に取り組む必要があり、各団の協力をお願いすることになるかと思しますので、地区報「あすなろ」のご支援と併せて、よろしくお願い申し上げます。

## 菊章取得おめでとう

1月29日に開催された地区協議会の開始にさきだち、菊章授与式が行われ、中野11団の東條雅臣君と、杉並9団の藤田蒼麻君に菊章、菊ネッカチーフリングが授与されました。



## パインウッドダービー、車が疾走！



1月18日（日）あすなる地区のパインウッドダービー予選会が杉並区井草児童館で開催されました。中野8団、杉並11団、杉並13団のカブ隊とリーダー、父兄の皆さんが組み立てて、好みの形に削り、色とりどりに着色した手作りの車を持参しました。

会場の入口で、車は高さ、幅、重さなどが基準に合うかチェックされ、基準を越えた不合格の車は時間内に手直しをして、合格者には「自動車車検証」が交付されました。

レースは参加者が見守る中で、4台ずつ一斉にスタートしました。すばやくゴールする車もあれば、力つきて途中で止まる車もあり、自分の作った車が目の前を走ると、スカウトの応援と歓声が響き渡り、盛り上がりました。

採点は各車を4回走行させて、1位になった回数で順位をつけ、同順位の同点決勝では、さらに大きな声で盛り上がり、予選通過車を決定しました。

あすなる地区の予選を成績上位で通過したのは、うさぎ4名、しか2名、くま5名、指導者1名の計12名で、2月1日（日）の東京連盟大会に出場することになりました。

また、スピードの順位とは別に、デザイン賞として、形、色のすぐれた車も表彰されました。

レースが終了して、採点、表彰までの間、各隊のスカウトの混成チームで、楽しく室内ゲームを展開しました。

来年はさらに参加隊が増えて、個性的でスピード感のある車が数多く参加することを期待します。

## 東京大会でも健闘、極東大会へ

2月1日（日）にパインウッド東京大会が開催され、あすなる地区からは10名のスカウトと指導者1名が参加して、くまスカウトの3名が見事に東京大会の予選を通過しました。

昨年の東京大会の予選通過は1名でしたので、あすなる地区が3倍の力をつけたことになります。

また、東京大会の予選を通過した2名は、3月7日（日）に横須賀基地で開催される極東大会に参加しますので、皆様のご支援をお願いします。





## 地区のレースに参加して

中野第8団カブ隊副長 山平有子

中野8団カブ隊がパインウッドダービーレースに参加したのは、今年で二回目でした。

ほとんどのスカウトが昨年のレースに参加しているだけあって、今年の製作は順調でしたが、昨年は初めての参加だったため、いろいろ手さぐりの感じでした。

パインウッドカーを作るために送られてくるキットは、テレビのリモコンを分厚くしたようなサイズの直方体の木材で、まずはこれをのこぎりや彫刻刀で大まかな形に加工していくのですが、子供の力ではなかなか加工が難しいところも多く、結局スカウトそれぞれに大人がつくかたちとなりました。

また用意した器具や時間の制限の問題で、残念ながらデザイン修正となった子もいました。当団カブ隊では、この車体のカッティングに集会一回分の2時間をあてたのですが、もう少し時間を取ればなあ、と思うところでした。

もう一つ、頭をひねったのが車体に取り付けるおもりの存在でした。昨年はネジ、十円玉、乾電池など様々用意して取り付けましたが、デザインを損ねず、小さくて重い素材はないかと探し、今年は鉛に落ち着きました。釣り具屋に300グラム単位で、はさみで切れるほど薄い鉛を売っていたので、いくつか買い、車体の底を削って鉛を貼り付ける方法を取りました。

ただ、おもりが何であれ、子供たちはそれをすぐさまデザインに取り込んでしまう発想の柔軟性があり、これは余計な、大人くさい配慮だったのかな…と思います。



### パインウッドダービーとは？

パインウッドダービーは、アメリカ連盟のカブスカウトの大きな年間イベントの一つで、日本でもいくつかの地区で開催されるようになってきました。パインウッドは英語で松の木のことです。公式キットを使ってレースカーを作成します。レースカーは大きさや重さが厳密に決められています。坂から一度に4台のレースカーを走らせて、誰が一番早くゴールに到着するかを競います。

レースはうさぎ、しか、くまのランク毎に表彰されます。指導者や家族も参加できるオープン参加の部もあるので、より大会が盛り上がります。

## ジャンボリー参加者の面接

1月28日（水）、阿佐谷地域区民センターにおいて、第23回世界ジャンボリーに参加予定の第二次参加申込みスカウトとIST（インターナショナル・サービス・チーム）要員の地区面接がありました。

すでに地区面接が済んでいるスカウトと併せて、あすなろ地区の世界ジャンボリー参加スカウト32名は、世田谷地区との混成隊、および練馬地区との混成隊により派遣されることになりました。



## 登録審査会、新春リーダーの集い

2月11日（建国記念の日）、あすなろ地区の登録審査会が荻窪地域区民センターで開催されました。

登録審査会は各団のスカウト、指導者などの来年度の継続登録とともに、各団の今年度の活動状況や、来年度の活動計画など、いわば各団と隊の健康診断の機会にもなります。

地区役員は各団の登録業務担当者から提出された登録関連書類をもとに、登録審査を行いました。



同日、荻窪タウンセブンで開催された「新春リーダーの集い」には、地区内各団のリーダーが参集し、来賓として、杉並区の関係者、東京連盟の役員が参加しました。

また、今年夏の世界ジャンボリーに派遣されるあすなろ地区のスカウトは、世田谷地区、練馬地区との合同隊が編成されることから、世田谷地区、練馬地区の地区役員、派遣隊指導者も参加され、メンバーの紹介、挨拶がありました。

会場では、あすなろ地区の今年度の活動を取りまとめた写真も映し出され、各団リーダーの交流により懇親を深めることができました。



鈴木地区委員長挨拶

23WS J 派遣隊の紹介

最後に全員で弥栄！

\*\*\*\*\*

### 編集後記

あすなろ地区ではこれまで「地区報」がなかったため、組織拡充委員会では「あすなろ」と題して、地区報を発刊することになりました。

「あすなろ」は漢字で「翌檜」と書き、檜（ひのき）に似た木で、檜のように大きくはなれない木です。いつも「明日は檜になろう」と願っている「あすなろ」は、結局は檜になれませんが、檜になれなくても、なりたいたいと思いつけて頑張り、成長していくことが大事なことと思います。

地区報の「あすなろ」も、皆様のご支援をいただきながら、檜になるような大きい夢をいつも追いかけて、あすなろ地区の活動の充実、発展とともに地区内の皆様のお役に立てるよう、地区や各団の活動の状況、計画などの記事をタイムリーに、掘り下げてとりまとめ、頑張つて成長していきたいと思つていますので、よろしくお願ひいたします。

組織拡充委員長 広瀬